

平成29年度 施策評価シート

[施策No.] [施策名]		[58] 住まいの確保			主管	福祉部 障害福祉課
施策の概要	長期総合計画体系	[将来像] Ⅲ 暮らしやすいまち [基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり [小柱] (5) 障害者の地域生活を支える支援の充実				
	10年後のめざす姿	● 地域生活の基盤となる住まいが確保され、障害者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができます。				
	主な取り組み	①	グループホームの整備促進	⑥		
		②		⑦		
		③		⑧		
		④		⑨		
⑤			⑩			
* 施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。						
施策の執行状況	施策の指標	指標名	計画策定時 (26年度末)	目標 (36年度末)	27年度	28年度
		知的障害者グループホーム 箇所数・定員数	12か所 (定員 計49人)	19か所 (定員 計77人)	12か所 (定員 計49人)	12か所 (定員 計49人)
		精神障害者グループホーム 箇所数・定員数	3か所 (定員 計18人)	5か所 (定員 計28人)	3か所 (定員 計18人)	3か所 (定員 計18人)
評価結果	B	(施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえて評価)				
	A 順調である B 一部課題がある C 課題がある	知的障害者グループホームについては、建築基準法や消防法等の基準に合致しないなどの理由により、27年度、28年度ともに未整備となったが、29年度は1か所(定員10名)が開設する予定である。障害者の地域生活の基盤となる住まいを確保するため、引き続き、区有地の活用も含め積極的に整備促進を図っていく必要がある。 精神障害者グループホームについては、3か所18人で適切に運営されている。				
学識経験者からの意見		知的障害者グループホームの整備のために、区有地活用を検討する方針について評価する。 施設整備については、計画どおりに進められていないため、要因をしっかりと検証してほしい。また、施設整備ができるようになって、人材確保ができないということがないように行政としても後方支援をする必要がある。				

施策を構成する行政計画事業の進捗										
	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	現況 (26年度末)	計画事業量	年度別 事業計画	27年度	28年度	29年度 (見込み)		
1	(181)知的障害者グループホーム整備助成	障害福祉課	知的障害者グループホーム	支援施設数	目標	1か所 (累計13か所)	1か所 (累計14か所)	2か所 (累計16か所)		
			12か所	4か所(累計16か所)	実績	0か所 (累計12か所)	0か所 (累計12か所)	1か所 (累計13か所)		
		障害福祉課	定員数	65人	目標	53人	57人	65人		
			49人		実績	49人	49人	59人		
					目標					
					実績					
					目標					
					実績					
		2	(182)精神障害者グループホーム	保健予防課	精神障害者グループホーム	3か所	目標	3か所	3か所	3か所
					3か所	実績	3か所	3か所	3か所	
保健予防課	定員数			21人	目標	18人	18人	21人		
	18人				実績	18人	18人	21人		
					目標					
					実績					
3					目標					
					実績					
					目標					
					実績					
					目標					
					実績					
4					目標					
					実績					
					目標					
					実績					
					目標					
					実績					